

授業科目(ナンバリング)	社会福祉の原理と政策 I (DA202)			担当教員	大島 啓		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
本講義の目的は、①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解できる、②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解できる、③社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解できる、④福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解できるとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解できる、⑤福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解できる、⑥福祉サービスの供給と利用の過程について理解できる、⑦福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解できることである。							②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	社会福祉、福祉政策、社会政策相互に関係する専門的知識を修得し、それらを社会の様々な生活課題に適用して、解決を図るための条件を解明することができる。					・定期試験	70%
情報収集、分析力	現代社会の動向や福祉/社会政策の仕組みに関する情報を収集し、それを分析する能力を身につけることで、自己や社会の成長に役立つ知見を指摘することができる。					・定期試験	20%
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づき、自分の考えを他者に明確に文章で伝えることによって、相互理解を図る営みに参加することができる。					・リフレクションカードにおける質問事項	10%
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
「定期試験」では筆記試験を実施する(評価比率 90%)。穴埋め問題と論述式の設問を出す。定期試験では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる基礎知識の理解度が身についているかを問う。リフレクションカードにおける質問事項(評価比率 10%)では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる思考力を確認し、良い質問があれば評価の対象とする。なお質問に関しては、授業内に回答の形でフィードバックを行う。							
授業の概要							
講義形式を基本とするが、折に触れて受講者に意見を聞いたり質問したりするので、うまく対応できなくてもよいから素直に発言すること。講義は、指定テキストと毎回配布するレジュメを併用して行う。なお毎授業の最初に、前回授業の復習を目的とする確認テストを行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。適宜資料を配布する。 参考書：『社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック 2021 (共通科目編)』(株)中央法規出版 ※教科書では不十分な記述の解説をする際に、参照を求める 指定図書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『社会福祉の原理と政策』中央法規出版(2021)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
全国誌新聞の福祉に関係する記事を探して読み、日常的に社会情勢に関心を持つこと。トイレ等で席を立つときは、必ず教員に許可を取ること。勝手に教室外に出ることは許可しない。携帯電話の使用は禁止。次ページの「予習・復習」欄に記載されている配布資料の部分を、授業前日までに読んでおくこと。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>社会福祉の原理</u>	社会福祉の原理を学ぶ視点から、社会福祉の歴史、思想・哲学、理論、社会福祉の原理と実践を説明する。	復習：配布資料を再読する。
2	<u>社会福祉の歴史①</u>	社会福祉の歴史を学ぶ視点から、歴史観、政策史、実践史、発達史、時代区分について説明する。	復習：配布資料を再読し、学んだ区分を歴史に適用する。
3	<u>社会福祉の歴史②</u>	日本の社会福祉の歴史的展開を概説し、慈善事業や博愛事業、社会事業について説明する。	予習：社会福祉の歴史について考察する。 復習：配布資料の再読。
4	<u>社会福祉の歴史③</u>	欧米の社会福祉の歴史的展開を概説し、救貧法や慈善事業、博愛事業について説明する。	予習：救貧法や慈善事業、博愛事業について調べる。 復習：配布資料の再読。
5	<u>社会福祉の歴史④</u>	欧米の社会福祉の歴史的展開を概説し、福祉国家や福祉社会の国際的潮流について説明する。	予習：福祉社会の国際的潮流について調べる。 復習：配布資料の再読。
6	<u>社会福祉の思想・哲学、理論①</u>	社会福祉の思想・哲学を概説し、社会福祉の思想・哲学の考え方や、人間の尊厳、社会正義について説明する。	予習：人間の尊厳について調べる。 復習：配布資料の再読。
7	<u>社会福祉の思想・哲学、理論②</u>	社会福祉の理論の観点から、社会福祉の理論の基本的な考え方、戦後社会福祉の展開と社会福祉理論について説明する	復習：配布資料を再読する。
8	<u>社会福祉の思想・哲学、理論③</u>	社会福祉の理論(政策論、技術論、固有論、統合論、運動論、経営論)、欧米の社会福祉の理論について説明する	復習：配布資料を再読する。
9	<u>社会福祉の思想・哲学、理論④</u>	社会福祉の論点として、公私関係や効率性と公平性、普遍主義と選別主義、自立と依存性について説明する。	復習：配布資料を再読する。
10	<u>社会福祉の思想・哲学、理論⑤</u>	社会福祉の論点として、自己選択・自己決定とパターンリズム、参加とエンパワメント、ジェンダー、社会的承認について説明する。	復習：配布資料を再読する。
11	<u>社会福祉の思想・哲学、理論⑥</u>	社会福祉の対象とニーズの観点から、ニーズと需要の関係、社会福祉の対象とニーズ、ニーズの種類と次元、ニーズの理論とその課題について説明する。	予習：ニーズの理論について調べる。 復習：配布資料の再読。
12	<u>社会問題と社会構造①</u>	現代における社会問題という観点から、貧困、孤立、失業、要援護性、偏見と差別、社会的排除、ヴァルネラビリティ、依存症、自殺について説明する。	予習：ヴァルネラビリティ、について調べる。
13	<u>社会問題と社会構造②</u>	社会問題の構造的背景として、低成長経済、グローバル化、少子高齢化、人口減少社会、格差、貧困、社会意識・価値観の変化について説明する。	復習：配布資料を再読する。
14	<u>福祉政策の基本的な視点①</u>	福祉政策の概念・理念の観点から、現代の社会問題と福祉政策、福祉政策の概念・理念について説明する。	予習：現代の社会問題と福祉政策の関係について調べる。 復習：配布資料の再読。
15	<u>福祉政策の基本的な視点②</u>	福祉政策の概念・理念の観点から、福祉政策と社会保障、社会政策、福祉レジームと福祉政策について説明する。	予習：福祉レジームについて調べる。 復習：配布資料の再読。
16	定期試験		